

# けいあいⅡ

第16号

平成21年12月22日  
甲斐市立敷島中学校  
発行責任者 長田和人

## 今年も残りわずかに「2学期を振り返って」

世界的な新型インフルエンザの大流行で、慌ただしく始まった2学期も、もう数日を残すばかりとなりました。振り返ってみると、生徒会最大のイベント「年輪祭」の直前、突然本校を襲った新型インフルエンザの爆発的な蔓延。3年生の学年閉鎖と2年2組の学級閉鎖を余儀なくされ、「年輪祭」を何度も延期しなければならなかっただけに、最後の「年輪祭」としての3年生には、色々な意味で心に残る思い出がつくれたことでしょうか！（開催？ or 中止？ ドキドキ）

長縄跳び、学級対抗リレー、全校女子集団演技、全校男子エッサッサ、ムカデ競争での友と力を合わせて協力した全ての種目、閉祭式での“火文字”、時の経つのも忘れ、頬を伝わるのも構わず流した涙は決して忘れることはないことでしょうか。

ともかく今年度の「学校行事」は、ことごとくインフルエンザの“餌食”となりましたが、一つも『中止』にはせず、「延期」での対応（その為に行事関係がかなり詰まってしまいました）で乗り切ってきました。《生徒たちの一つでも多くの思い出を残させてやりたかった！》部活動も、殆どの部が3年生から1・2年生にバトンタッチされました。引っ張っていくことは難しく、後をついていくことは楽であると…。新人戦どの部も「頑張りました！」10月17日（土）には「校内強歩大会」が実施されました。ゴールの時の“感動”や“充実感”も思い出のひとつまででしょう。12月8日（火）には、県民文化ホールで“合唱祭”を行ないました。短期間（本当に）での取り組みではありましたが、各学年・学級が一生懸命努力し、素晴らしい（？）合唱に仕上げました（思います）。講師をお願いした落合先生にも講評で褒めていただくことが出来ました。しかし、合唱祭が終わったとたんに歌声が聞こえなくなった様に思いますが、気のせいでしょうか。（寂しいですネ！）

また3年生は、10月から進路に向けて、本格的な活動が始まりました。高校の入試制度が大きく変わったために、教師も生徒も保護者の皆様も大変だと思います。校長会テスト（教育課程到達度確認検査）、高校説明会、二者懇談、三者懇談等、厳しい学期でした。暦もとうとう最後の1枚になり、一年の終わりをひしひしと感じさせますが、今学校では長かった2学期のまとめを、生徒とともに学習、生活両面にわたってしているところです。

特に、12月18日から4日間に渡って行われている三者懇談では、短い時間ではありますが、生徒一人ひとりについて、保護者の皆さんと学級担任とで、学校での様子やご家庭での様子についての話し合いをしていただいております。良いところは誉めていただき、改めてほしいところはよく話し合い、これからの「生活」にいかして欲しいと思います。

また、今日は「冬至」（22日）ですが、「冬至、冬なか冬はじめ」といって、「冬も半分が過ぎましたが、厳しい寒さはこれからですよ」という意味の“言葉”でもあります。

「校長室から見える木々もすっかり葉を落とし、眠りに入っているように見えますが、来たるべき“春”に備えて、小さな芽を守って冬を越そうとしています。皆さん方も“新しい年（春）”を迎えるための準備をして、元気に過ごしてほしいと思います。」

保護者の皆さんや地域の方々に支えられ、学校生活を送ることが出来たことをご報告申し上げますと共に、何かにつけてご協力を賜りましたことに厚くお礼を申し上げます。

「2010年が、生徒・保護者の皆さん、敷島中学校にとって躍進できる年になるように、力を合わせていきましょう！」よいお年をお迎え下さい！！

## H 2 2 生徒会役員を決める生徒会役員選挙が行われました！

来年度の敷島中学校をしょって立つ、生徒会の役員を決める大事な選挙が行われました。立候補した1・2年生は、寒さにも負けず生徒たちに支持を呼びかけ、11月5日（木）の立ち合い演説会で、自分の考えを熱く語りました。その後行われた投・開票において、2年の山口直也（2-2）君が、来年度敷島中学校の生徒会長に、2年本間 努君（2-5）と荻野 優さん（2-3）、1年小松紘也君（1-3）が副会長にとそれぞれ当選しました。

新会長・副会長には、12月15日（火）の後期生徒総会の席で当選証と任命証が渡されました。生徒会の正式なバトンタッチも当日行われましたが、現生徒会の本部役員には『よく頑張りました』の言葉と大きな『拍手』を送りたいと思います。そして、新生徒会本部役員の1・2年生の皆さんには『がんばり』と『努力』を期待をしたいと思います。



H22の敷島中を背負う生徒会の本部役員です！

期待しています！

- ◎生徒会長 山口直也 (2年)  
 副会長 本間努 (2年), 荻野優 (2年), 小松紘也 (1年)  
 議長 保坂康介 (2年), 神宮字葵 (2年), 榎上野裕貴 (1年)  
 書記 栗林綾園 (2年), 長田美波 (2年), 榎小田切真由 (1年)  
 文化局局長 小宮山香奈 (2年), 局員 櫻井寿樹 (1年)  
 体育局局长 清水壮 (2年), 局員 遠藤聖奈 (1年)  
 専門局局长 小島一樹 (2年)

頑張った敷島中の生徒たち！



- ◎第52回 JA 共済書道コンクール  
 (条幅の部) 教育長賞 上山葵 (2-2)  
 (半紙の部銅賞) 川崎麻子 (3-2), 加藤未来 (3-1)  
 (〃 佳作) 渡邊理沙 (1-3), 名取拓馬 (1-3), 内藤朱音 (1-4)  
 遠藤紗希 (2-2), 上山葵 (2-2), 佐藤千尋 (2-3), 山本彩加 (3-4)

- ◎第32回 JA 共済交通安全ポスターコンクール  
 金賞 上野沙希 (1-1), 銀賞 内藤朱音 (1-4), 銅賞 大久保美緒 (1-4), 長田美紅 (1-3)  
 佳作 中込希将 (1-2), 清水真衣 (1-4), 吉村美咲 (1-1), 澤貴音 (1-3), 坂本知明 (1-4)  
 榎屋諒 (1-3), 天野桃花 (1-3), 田山ほのか (1-5), 保坂千春 (1-5), 高山真太郎 (1-1)

- ◎平成21年度「中学生の税について」の作文コンクール  
 甲府税務所管内・納税貯蓄組合 連合会長賞 欠瀬理沙 (3-3)

- ◎平成21年度 第22回 道のある風景写真コンクール  
 銅賞 『法起寺の三重塔を訪ねて』 中嶋能亜 (1-4)



- ◎2009年 全日本アーチェリー連盟日本記録  
 OUTDOOR RECURVE CADET FITA ROUND 30M 345 鬼山直也 (2-3)

- ◎平成21年度 第12回 山梨県科学写真展 (県立科学館)  
 奨励賞 『セミの抜け殻』 坂本知明 (1-4), 『人工竜巻』 山崎弘量 (1-4)  
 『スズムシの脱皮』 大澤恵介 (2-3), 『アサガオ』 保坂康介 (2-1)  
 『液体の比重の違いによる分離現象』 山本萌瑠 (2-4),  
 『チリメンモンスター』 小林希 (3-2)

- ◎平成21年度 教育祭図画美術作品展  
 県特選 坂本知明 (1-4), 一瀬友希 (1-5), 山村有紀 (2-4), 鬼山直也 (2-3), 大村優果 (3-1)  
 郡特選 鈴木茜音 (1-1), 坂口侑菜 (1-2), 田中萌 (1-3), 長田美波 (2-1), 小松理紗子 (2-2)  
 荻野優 (2-3), 大澤優介 (2-4), 栗林綾園 (2-4), 坂本亜里紗 (3-1), 加藤未来 (3-1)  
 小林俊介 (3-3), 小田切覚史 (3-2), 小倉えりか (3-4)

- ◎第33回 山梨県アンサンブルコンテストで  
 “第15回西関東アンサンブルコンテスト” 出場の栄誉を勝ち取りました。「おめでとう！」

12月20日(日)、今年度山梨県吹奏楽連盟主催行事の最後を飾る“第33回山梨県アンサンブルコンテスト”が、「中学生の部」で県下70組が参加をして県民文化ホールで開催されました。本校の吹奏楽部は、昨年度「全国アンサンブルコンテスト」で『金賞』という、今まで山梨県のどの中学校も達せなかった偉業を達成しました。

今年度は新たに「全国アンサンブルコンテスト“金賞”」というプレッシャーのもと、木管八重奏と金管八重奏との2組がコンテストに出場、堂々の演奏を披露しました。その結果、参加した全組中、木管八重奏、金管八重奏ともに「金賞」という素晴らしい評価を得て、山梨県の代表として来年の1月17日(日)に本県甲府市の県民文化ホールで行われる“第15回西関東アンサンブルコンテスト”に出場することが決まりました。また、この大会で良い成績を残すと3月20日(土)に新潟県で行われる“第33回全日本アンサンブルコンテスト”に出場出来ることとなります。「全力を尽くし頑張ってください!!!」

☆木管八重奏

Pic & Fl 長田くるみ Escl 岸部一希 Cl. 1 塩澤侑加 Cl. 2 萩原亜也加  
 B.Cl 芝海桃子 A. Sax 山本萌瑠 T. Sax 佐々木菜摘 B.Sax 山崎日向子

☆金管八重奏

Tp.1 河野 静 Tp.2 西村奈々 Tp.3 今村祐香 Hr 一條彩絵  
 Tb.1 篠原礼哉 Tb.2 小松理紗子 Tb.3 佐藤千尋 Tub 荻野 優

